

鎌倉国宝館の歴史

昭和３年	４月 町立鎌倉国宝館開館
昭和４年	３月 国宝保存法制定
昭和14年	11月 市制施行、市立鎌倉国宝館となる
昭和20年	６月 収蔵品の一部を津久井郡串川村に疎開 ８月 一時閉館 10月 再開
昭和21年	５月、疎開していた資料が帰館
昭和23年	10月、創立20周年祝賀式典開催
昭和25年	５月 文化財保護法制定
昭和26年	５月 勸告・承認出品施設となる 12月 博物館法制定
昭和27年	８月 登録博物館となる 10月 鎌倉市教育委員会設置
昭和30年	11月 神奈川県博物館協会発足
昭和44年	３月 『鎌倉国宝館40年略史』刊行
昭和45年	11月 友の会発足
昭和49年	10月 財団法人氏家浮世絵コレクション設立
昭和58年	12月 新館（収蔵庫）竣工
平成３年	３月 本館（展示場）改修
平成８年	12月 公開承認施設となる
平成12年	５月 本館が国の登録有形文化財に登録される
平成19年	12月 新館収蔵庫空調設備大規模修繕
平成20年	12月 新館収蔵庫に免震装置を設置
平成21年	12月 本館彫刻展示場に免震装置を設置
平成24年	４月 氏家浮世絵コレクションが公益財団法人へ移行
平成30年	９月 建物が歴史的風致形成建造物に指定される